

閉会中の

平成27年の常任委員会共通の重点テーマ「茨城の潜在力を生かした活力と潤いある地域

農林水産
委員会

木質バイオマス発電の状況と最先端の育苗技術を調査 (5/14)

農林水産委員会(西野一委員長)の個別審査テーマ:「県産農林水産物のブランド化の推進等による、活力と潤いある地域づくり」

木質バイオマス発電施設(常陸太田市)

宮の郷工業団地内の木質バイオマス発電施設は、日立造船株式会社による木質バイオマス発電所と宮の郷バイオマス有限責任事業組合による木質チップ製造工場からなる発電施設です。同施設は、年間約6万トンの未利用材を燃料とし、発電規模5,750kw(一般家庭約12,000世帯分)で、平成27年11月から稼働する予定です。

発電施設の概要等について説明を受けた後、バイオマス発電所およびチップ製造工場の視察を行いました。



発電施設を視察する委員

ベルグアース株式会社 茨城農場(常陸大宮市)

ベルグアース株式会社は、最先端の育苗技術を取り入れ、高品質な野菜苗の生産に取り組んでおります。同社が生産する約4,000万本の苗のうち、約500万本を当農場で生産しています。

日本一の生産量を誇る接ぎ木苗の生産体制等について説明を受けた後、育苗施設の視察を行いました。



育苗施設を視察する委員

浄水処理システムの実証実験と工場立地の現状などを調査 (5/15)

土木企業委員会(神達岳志委員長)の個別審査テーマ:「災害に強い県土づくり」

土木企業
委員会

県南水道事務所(土浦市)

水質基準の改正や霞ヶ浦の水質変化から浄水処理費用が年々上昇していることを受けて、水に溶けている汚れやかび臭の原因物質を一連の浄水処理システムとして除去する実証実験を行っている同事務所において、説明を受け、施設の調査を実施しました。



施設を調査する委員

雪印メグミルク株式会社 阿見工場(阿見町)

同工場は、企業局が造成した阿見東部工業団地に立地し、平成27年5月現在で現地採用の契約社員などを含め577名が勤務する国内最大規模の基幹工場であり、同社のプロセスチーズやマーガリン類のほとんどを生産するとともに、阿見総合物流センターを併設することで、原料からの生産、物流までを一貫して行っています。工場の概要について、説明を受け、施設の調査を実施しました。



工場の概要説明を受ける委員

文教警察
委員会

茨城を担う人づくりの取り組みと史跡の復旧状況などを調査 (5/20)

文教警察委員会(石井邦一委員長)の個別審査テーマ:教育庁関係「グローバル化に対応した茨城の将来を担う人づくり」、警察本部関係「地域住民、事業者、自治体等との協働による犯罪の起きにくい社会づくりの推進」

県立大子清流高等学校(大子町)

県立大子清流高等学校は、県内唯一の森林科学科と、人文科学・自然科学・農業・福祉の4系列からなる総合学科が設置されており、各学科の概要などについて説明を受け、森林科学科関係施設および総合学科の福祉系列関係施設における生徒の実習の様子を視察しました。



森林科学科関係施設を視察する委員

水戸徳川家墓所(常陸太田市)

平成19年に国の史跡に指定された水戸徳川家墓所では、東日本大震災により発生した石垣の崩落など甚大な被害の復旧状況などについて視察しました。



復旧状況を調査する委員